

HOME > 日経エレクトロニクス > 2007年01月15日号目次 > Leading Trends



### 日経エレクトロニクス2007年1月15日号

#### **Leading Trends**

# CMOS微細化は90nm以下 電源電圧は1Vを下回る 「ISSCC 2007」プレビュー

最先端の半導体回路技術が発表される「ISSCC(International Solid-State Circuits Conference) 2007」の注目の一つは,CMOSプロセス

例えばアナログ分野で発表する米Columbia Universityは、90nmのCMOSルールを適用し、0.65V電源で2.5GHz動作を実現したFractionalシ ンセサイザを報告する。A-D変換などデータ・コンバータ分野では発表の過半数が90nm以下を適用しており、電源電圧は1V近辺が主流になって いる。

CMOSの適用領域の広がりも著しい。無線通信分野では、これまでSiGe技術が担っていたミリ波(30GHz~300GHz)の領域に、CMOS技術 を適用する送信/受信回路を作り込んだICが相次ぐ。有線通信分野では40Gビット/秒のDWDM(dense wavelength division multiplexing)シス テムの低価格化を促すトランシーバICが登場する。

前回、ソニーが高速撮影対応品を発表したことで注目を集めたCMOSセンサ分野では、今回もHDTV対応カメラ向け技術を発表するキヤノン や、レンズ一体化技術を発表する松下電器産業など、それぞれ特徴を打ち出した発表が注目を集めそうだ。

デジタル分野におけるマイクロプロセサのセッションでは、とうとう発表のすべてがマルチコア型になった。中でも米Intel Corp.は、80個の演 算ユニットを1チップに集積した「network-on-chipアーキテクチャ」に基づくLSIの詳細を発表する。(菊池 隆裕=日経コンピュータ)

### <u>雑誌の購読お申し込みはこちらから</u>

## 関連記事

- ルネサスのSH-Mobile, 2008年の生産個数を5000万に (2006/03/03)
- ST社がGPS受信用SoCの出荷開始、車載機器向けにRFやCANインタフェース内蔵 (2005/01/20)
- TI社, 初めて65nmCMOSルールでRF回路と論理回路を集積した1チップ・ケータイを開発 (2006/11/09)
- 【ISSCC】技術セッション始まる, 今年も大混雑 (2006/02/07)
- 【IDF速報】64ビット版のノートPC向けプロセサ「Merom」は2006年後半から登場 (2005/08/24)

| サイトマップ | | 広告について | スタッフ | <sub>個目F1年 | ランフについて |</sub> ソープコクーユー | 四八旧秋休茂 | 塚児刀割 | 口班DFないのの同い口ひと

al Tank Onli Liurda | al District Al District

Copyright © 1995-2007 Nikkei Business Publications, Inc. All rights reserved. □ ACE B P 本 COpyright © 1990-ZUU/ Nirkel Dushitess Fuulicaturis, III. / Jin Ingrita 1988 1988 2 conページに掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。著作権は日経BP社、またはその情報提供者に帰属します。